



いよいよ夏本番を迎え、暑さも厳しくなりそうだ。「年齢と共に暑さ寒さが身に応えます」とは、良く耳にする言葉だが、私も実感として分かる年齢になってきた。今月後半にはまた一つ年を重ね、66歳となる。

かつて人生を逆算して生きていると言っていた先輩がいた。人生の最期を何歳に設定していたのかは分からないが、確かに何事にも真剣に取り組み、今を生きている感じがひしひしと伝わってきていた。

今でも私が人生を生きる時、どこかでその先輩の生き方のスタイルがちらついていることに気づくことがある。不思議なことだと思う。

人生も晩年を迎えた今、今までの人生を振り返り、このまま一生を終えてよいのだろうかと思ふ。毎日が平穩無事に生きられることのみを心に砕き、自分の都合のみに生きること縛られている。「平生業成」(生きている今こそ救われなければいけない) その思い一つが定まっていな、迷いの海のただ中に浮いているように思えて、どこか悲しく寂しい。

当寺先輩は難病を抱えて生きていた。無宗教だとも言っていた。しかし強い意志を持って自分の人生を生きていたのは事実。今も彼は元気で生きているが、生き方は変わっていないようだ。人生の最期を何歳に設定していたかはいまだ分からないが、生き切っている姿が風の便りで聞こえてきた。

私は残念ながらそれほど強くはない。ただ弥陀の誓願に助けられる日が来ることを願うのみだ。

おだやかな日々

西町

M・U

今年九十五歳になる義母は介護が必要となり、仏前に座れなくなって四年ほどが経ちます。

以来主人が毎日お経を唱え、時には私も後ろで合唱し「皆がおだやかに過ごせます様に」と手を合わせています。

春から初夏へ。この時期の私の一日は花や野菜の手入れに一喜一憂の日々が続きます。特に力を注いで育てているのがバラの花です。このバラ達、水やりもできない過酷な場所であるにもかかわらず、それなりに育ってくれて、毎年きれいに花を咲かせてくれます。そんな花達を眺めると、日頃の苦勞も忘れてしまいます。時には草取りや、花摘みに夢中になっていて時間の経つのも忘れてしまつこともあり、慌てて家に帰ることもしばしばあります。

家ではお嫁さんがもつすっかり食事の準備を待っていてくれます。申し訳なく思いながら、急いで義母を食卓に着かせ、孫たちと一緒に♪いただきま〜す♪と、思わず大きな声が出ます。

「こんなおだやかな日々が、いつまでも続きます様に」。今日一日の幸せをしみじみと感じながら、また心の中で手を合わせている私がいいます。



美智子さんの憩いの場を訪ねてみました。

約20種類のバラの花

を始めリンゴやオリー

ブなど多くの樹木が植

えられて、まさに楽園

といった感じ。

ここで「コーヒーでも

飲めたらいいだろうな

と、つい思いました。



たそがれ



ノスタルジー



アベマリア

十日講

多くの方の「参詣を」お待ちしております。

八月十日(土)

九時半より十一時

法話

組内法中



みんなでお経を習いましょう・・・墨俣町仏教会主催

7月25日(木)～26日(金)・・・朝七時から八時まで

対象は子供ですが、付添としての大人の方の参加や、
そうでない老若男女どなたでも参加はできます。

会場・・・(墨俣地区) 満福寺・(上宿) 西来寺・(下宿) 蓮泉寺にて

参加費・・・1人 300円です。(付添の方・大人は要りません)

数珠、教本のない方は、それぞれ100円です。

お勤めの内容は『正信偈』同朋奉賛です。

子供大会もあります。7月27日(土) 等覚寺 9時～11時まで

参加費は上記の300円に含まれています。

お勤めはもちろんですが、お話やかき氷(食べ放題)ゲームの景品など
用意しています。

申し込みは住職へ。当日でも受け付けます。※子供大会参加のみでも

夏休みの貴重な経験にしましょう!

300円は必要です。

その他の行事のご案内です。参加者募集中!

会場・・・光受寺本堂
 時間・・・九時三十分～十一時三十分
 持ち物・・・念珠・勤行本
 講師・・・岐阜教区第十一組 仁成寺住職 栗田 暢之師
 テーマ・・・「真宗ホランティア・震災後の現状」
 聴講券・・・五百円
 光受寺にあります。

八月三日(土)

夏期講習会

第十一組

演題・・・「仏様の願いに遭う」
 講師・・・長浜教区 第二十四組 明徳寺住職 秦 信映師
 聴講券・・・三百円 光受寺にあります。

七月二十八日(日)

暁天講座

第十一組・十二組

会場・・・智雲寺 安八町善光二二八 TEL 64-2714
 時間・・・午前 六時三十分

先生あしがういげんまつた。いのち輝いて
 合唱団でお世話になった先生がお
 亡くなりになりました。
 いつかこの日が来ることはわかっ
 てはいましたが、とても残念です。
 先生の輝いていた命は、御遠忌の歌
 に生き生きと歌いこまれ、見事とし
 た。ありがとうございました。



最後となった2月の練習日。
積み上げた椅子を支えにして
までもご指導をいただきました。

団員も真剣でした。その緊張
感は団員の身に染みてわかっ
ただろう、心からの喜びの眼が
開かれた瞬間でもあったはず
です。 合掌

原稿募集中 「題材」なんでも可
 学習会毎月第二土曜日 七時より 「お文」に学ぶ
 今しかないでしょう! ぜひご参加を。